

学校の様子 6月号

5月18日は第43回運動会でした。天気にも恵まれ、子どもたちも全力を出し切って、日頃の練習の成果を発揮しました。たくさんの応援を、ありがとうございました。

「運動会の成功、不成功は、運動会後の生活の質が向上したかどうか」を見るのだと、教師の先輩から教えていただきました。

運動会のある日の学校の1日を紹介し
ます。

1年生は、アサガオの種を植えていました。

アサガオの種を植えると、休み時間に大事そうに水をあげている姿が毎日見られます。

2年生は、プールでヤゴレスキューをしました。虫とり網を持って、ヤゴを捕まえていました。その後、教室でヤゴの観察をしました。熱中して世話している姿が見られました。

3年生は、毎朝学校来ると、GIGA端末を開いて、1日の様子を見たり、タイピングの練習をしたりしています。ものすごい速さでタイピングしている人もいて驚きました。

4年生は、教室でビー玉を使って、工作していました。ビー玉がジャンプしたり、落とし穴に落ちたりと、それぞれが工夫して取り組む姿が見られました。

5年生は、総合的な学習の時間で、野菜の苗を植えていました。野菜を育てることを通して、環境や流通について探究していく予定です。

6年生は、教室で社会の勉強をしていました。政治の仕組みについて考えていました。教室の中に、落ち着いた、しっとりとした空気が流れていました。

運動会の練習中や、運動会の後、子どもたちは疲れも溜まりがちです。放課後の昇降口の靴置き場の様子です。靴が揃えておいてありました。子どもたちが落ち着いて生活している様子が伝わってきます。

運動会後も、子どもたちがしっかりと授業に取り組む様子に、運動会の成功を確信しました。

「屠龍の技」という言葉をご存知の方もいらっしゃるでしょう。中国の古典「莊子」に出てくる言葉で、東京都のハイパーレスキューの部署に掲げられています。龍を倒す技で、日常生活では使わない技ということです。5月23日(金)に不審者対応の訓練をしました。実際に職員が不審者役と対応し、教室に伝え、教室での安全確保の手順を確認しました。大切な子どもたちをあずかる者として、強い責任感を日々感じています。避難訓練など、子どもたちの安全を守る訓練を、計画的に行います。



